

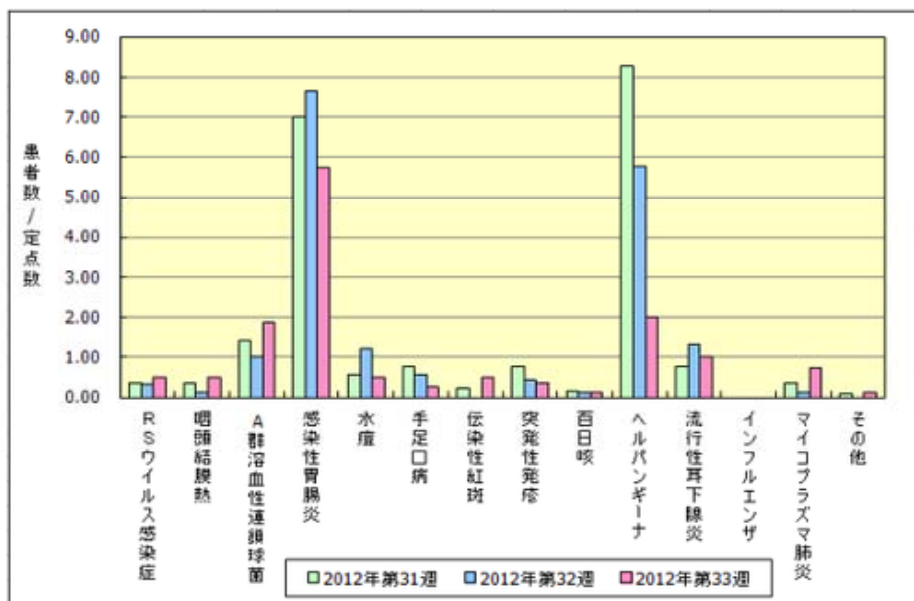
小児感染症の第33週(平成24年8月13日から平成24年8月19日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】 今週は8点からの報告です。

○ヘルパンギーナは定点あたり2.0減少していますが、依然警報レベル(終息基準値2.0未満)となっています。

ヘルパンギーナは、主に咳や、くしゃみでうつりますので、咳エチケット等を心がけて下さい。また、便の中には2~4週間はウイルスが含まれますので、しっかりと手を洗いましょう。



第33週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	3↑	3→	6↑	5↓	3↓	4↑	4	0	0	0
咽頭結膜熱	9↓	9→	7↓	5↓	1↓	4↑	0	0	4	0
A群溶血性連鎖球菌	52↑	25↓	39↑	20↓	5↓	15↑	11	0	2	2
感染性胃腸炎	131↓	106↓	117↑	98↓	65↓	46↓	41	1	1	3
水痘	18↑	10↓	13↑	8↓	11↑	4↓	1	0	2	1
手足口病	26↑	9↓	9→	11↑	5↓	2↓	0	0	2	0
伝染性紅斑	4→	1↓	0↓	3↑	0↓	4↑	1	1	1	1
突発性発疹	12↑	12→	11↓	11→	4↓	3↓	1	0	0	2
百日咳	1↑	2↑	0↓	2↑	1↓	1→	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	117↑	199↑	191↓	116↓	46↓	16↓	7	0	4	5
流行性耳下腺炎	12↓	13↑	10↓	11↑	12↑	8↓	6	0	0	2
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	9↑	6↓	7↑	5↓	1↓	6↑	2	0	0	4
その他	7↑	5↓	8↑	6↓	3↓	5↑	4	0	1	0

第33週疾患毎発生状況表

第33週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
～11ヶ月	1	0	0	3	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0
1歳	0	0	1	9	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0
2歳	1	1	2	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
3歳	0	2	2	6	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0
4歳	0	0	1	6	0	1	0	0	0	1	4	0	0	0
5歳	0	1	3	6	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
6歳	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7歳	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0
8歳	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
10～14歳	0	0	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	4	4	15	46	4	2	4	3	1	16	8	0	6	1

第33週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所